

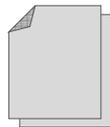


令和6年度
第2回 土佐和紙総合戦略推進会議

高知県工業振興課

R7.3.25

Agenda



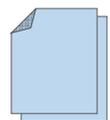
01 令和6年度の活動振り返り（総括） ・令和7年度の活動予定（承認）

<総括>

- KPI達成状況
- 各基本方針毎の活動振り返り
 - ・取り組みの進捗（2月PT会での報告事項）
 - ・追加報告
 - 産地留学参加者後追いフォロー(方針2)
 - 土佐和紙振興事業アイデアファイル(方針3)

<承認>

- 令和7年度の活動予定
 - ・計画（Plan）



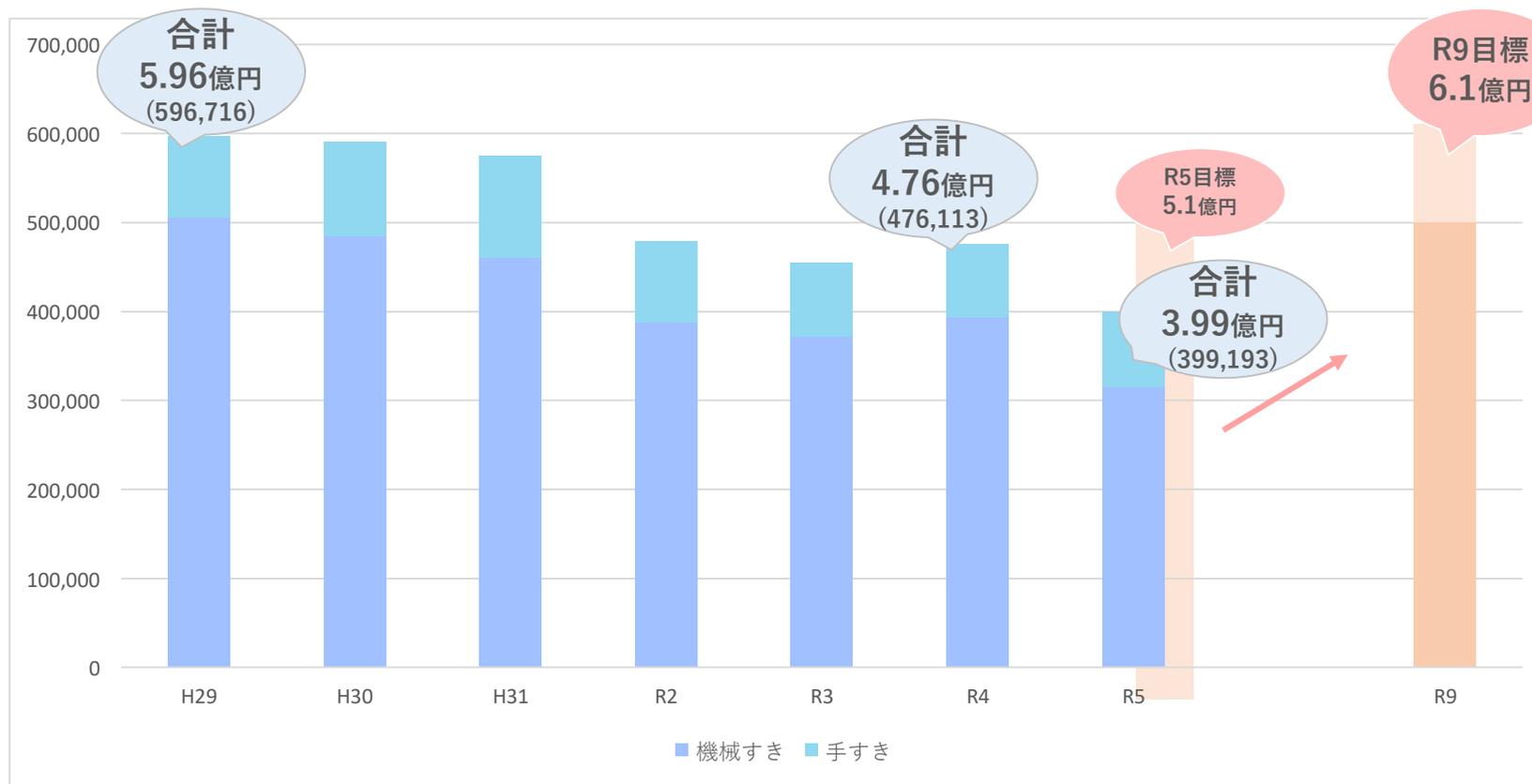
02 令和7年度の活動についての提案

- 活動案
 - 土佐楮マークの運用(基本方針1)
 - 受入れのルール化(基本方針2)
 - トリエンナーレに向けた販促(基本方針3)
 - 土佐和紙サポーター制度（基本方針2,3）

はじめに__土佐和紙総合戦略の目標（土佐和紙生産額調査結果について）

| | H29 | H30 | H31 | R2 | R3 | R4 | R5 | | R9（目標） |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|---------|
| 手すき | 91,916 | 105,585 | 113,960 | 91,755 | 83,872 | 81,742 | 84,407 | | 110,000 |
| 機械すき | 504,800 | 484,906 | 460,383 | 387,752 | 372,044 | 394,371 | 314,786 | | 500,000 |

単位：千円



KPIの達成状況

| | KPI | 目標値 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 合計 | 達成率 |
|-------|--|---------|-------|-------------|------------|----|----|----|-------|
| 基本方針Ⅰ | (1) 土佐楮の供給量 (=使用量) : <u>30t/年以上</u> | 30t/年 | 13.7t | 未 (R7調査) | - | - | - | - | ≠累計 |
| | (2) 原料生産持続化の取り組み件数 : 累計 <u>5件以上</u> | 累計 5件 | 1 | 1 | - | - | - | 2 | 40% |
| 基本方針Ⅱ | (1) 長期研修修了生 : 累計 <u>3名以上</u> ※(数字)は短期研修修了生 | 累計 3名 | (1) | (2) | 2名 長期予定 | - | - | 0 | 0% |
| | (2) 県指定文化財である和紙の新たな 技術保持事業者数 : 累計 <u>2事業者以上</u> | 累計 2事業者 | 0 | 0 | - | - | - | 0 | 0% |
| 基本方針Ⅲ | (1) 新商品開発件数 : 累計 <u>40件以上</u> | 累計 40件 | 24 | 5 | - | - | - | 29 | 72.5% |
| | (2) 見本市や商談会等への参加事業者数 : 累計 <u>60事業者以上</u> | 延べ 60件 | 27 | 20 | - | - | - | 47 | 78.3% |
| | (3) PR実施件数 : 累計 <u>60件以上</u> | 累計 60件 | 20 | 14 | - | - | - | 34 | 56.7% |



■ 各基本方針毎の活動振り返り

基本方針Ⅰ 原料づくり

基本方針Ⅰ 原料づくり__計画(P)、実施(D)

| 【指標】 | 計画【P】 | 実施【D】 |
|-------------------------|---|--|
| (1)土佐楮の供給量(=使用量) | ①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] ・【4～9月】土佐楮の使用量、在庫量等の聞き取りを行い、土佐楮使用実態の把握と分析を行う。 ・【通年】土佐楮使用に繋がる情報交換、取組の提案を行う。 | ①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] (KPIに採用) ●生産量調査で和紙生産者へ土佐楮の使用量、在庫量等の聞き取りを実施(4～6月) ●文化庁補助金の活用を提案 [工業振興課] (和紙生産者における自家栽培の動きについて) *「芸術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業国庫補助」 ・いの町和紙生産者へご紹介(8月)→文化庁と要調整 ・集落活動センター佐賀北部(黒潮町)に紹介(10月) [歴史文化財課・工業振興課] →活用に至らず |
| | ②楮生産者への調査・提案 ・【4～12月】県内産楮の生産量、栽培状況等の聞き取りを行い、まとめと分析を行う。 | ②楮生産者への調査・提案 [環境農業推進課] ●土佐楮の生産量調査(7～8月)※聞き取り調査 【環境農業推進課調査】：数値はKPIに採用せず参考調査 ・栽培面積：4.7ha(前年：5.6ha) ・生産量：5.56t(前年：5.17t) ※黒皮換算 ・栽培農家数：41戸(前年：39戸) ※増減：いの町+3戸、本山町-1戸 |
| (2)原料生産の持続化 | ①生産効率化のための支援 ・【通年】楮生産工程の効率化(機械化)に繋がる情報収集を行い、関係者に共有を行う。 ・【通年】導入支援策を協議し、検討する。 | ①生産効率化のための支援 ●上東を愛する会にヒアリングを実施 [工業振興課](7月) 文化庁補助金を活用した機械導入を提案 →機械導入に至らず |
| | ②作業確保のための支援 【通年】 農福連携等、楮生産の作業確保に繋がる情報収集を行い、関係者に共有を行う。 | ②作業確保のための支援 [全員] ●研修生交流会で名楮加工作業の企画・実施 [工業振興課] →土佐打刃物の研修生など計11名が参加(12月) ●県内学生による楮加工作業ボランティアの斡旋 [工業振興課] →学芸高校の生徒が機会すぎ事業者の楮蒸し剥ぎボランティアに参加。 4回に分けて約20名程度が参加(1月～2月) ○参考<ヒアリング情報> ・高知刑務所での楮栽培を手すき和紙関係者が指導 →刑務所内で楮の栽培や、へぐり包丁の代替品(木ペラ)など、手段を検討中 ・福祉作業所へ一部生産者から楮加工の外注が行われている |

(1) ①和紙生産者への調査・提案

■文化庁補助金について

- ・名称：芸術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支事業国庫補助
- ・趣旨：美術工芸品の保存修理に必要な用具、原材料を継続的に確保、供給するために必要な経費（修復紙用和紙の原料確保に係る経費）
- ・補助対象：草刈り、用具原材料確保（へぐりなど）等に係る報償費、旅費、備品購入費等
- ・補助率：50%（個人or従業員20名以下の事業者：70%）

文化庁補助金の活用メリット

補助金を活用した場合



・栽培に係る作業（草刈り、収穫等）を外注する場合にかかる経費について、補助金を活用し、負担軽減が図れる

▶県内和紙生産者（自家栽培）に補助金を紹介、活用に繋げる（=持続化）

補助金の利用状況（R6年度4月交付決定分）

高知県はこの補助金をもっと有効活用できるのではないかと…？
他県と比較してみると…

【高知県】：（交付額計）1,296,000円

| | | | | | |
|---------|----|-------------------|--|------------------------|---------|
| 文化財保存技術 | | コグイバ(イコバ)の播種・加工事業 | | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 648,000 |
| 文化財保存技術 | 遊保 | コグイバ(イコバ)播種・加工 | | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 280,000 |
| 文化財保存技術 | 遊保 | コグイバ(イコバ)播種・加工 | | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 210,000 |
| 文化財保存技術 | 遊保 | コグイバ(イコバ)播種・加工 | | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 158,000 |

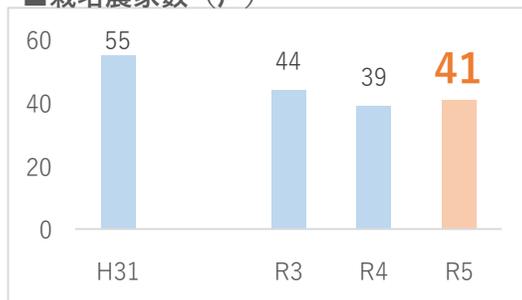
【茨城県】：（交付額計）6,532,000円

| | | | | | |
|---------|--|-------|--------|------------------------|-----------|
| 文化財保存技術 | | トコアオイ | 久慈郡大子町 | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 2,905,000 |
| 文化財保存技術 | | トコアオイ | 久慈郡大子町 | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 1,040,000 |
| 文化財保存技術 | | トコアオイ | 久慈郡大子町 | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 1,836,000 |
| 文化財保存技術 | | トコアオイ | 小美玉市 | 美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援 | 751,000 |

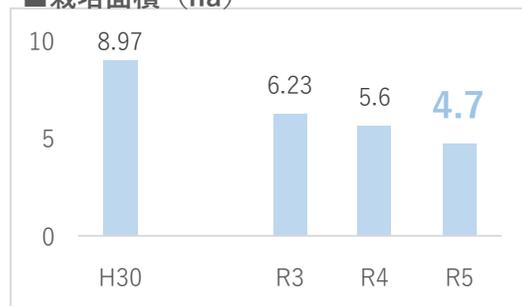
(1) ② 楮生産者への調査・提案

■環境農業推進課 調査結果

■栽培農家数 (戸)



■栽培面積 (ha)



■生産量 (t : 黒皮ベース)



▶栽培農家数*、生産量が前年と比べて増加

*いの町 (前年+3件)、本山町 (前年-1件)

(2) ② 作業者確保のための支援

■研修生交流会

- ・目的：(後継者育成補助金の)研修生・研修修了生と先輩職人の交流を通じ、自身の研修や仕事へ活かす学びの場を提供する。
- ・実施時期：12月18日(水)
- ・場所：いの町の製紙会社
- ・参加者：11名 (内訳：土佐打刃物9名、土佐和紙2名)
- ・内容：原料処理の体験 (楮の蒸し剥ぎ、へぐりなど)、意見交換

⇒異なる伝統工芸に携わる方同士の交流にもなり、伝統工芸に共通する課題(原料や用具を取り巻く環境など)や、へぐり包丁についてなど活発な意見があった。自身の仕事との関係性を見出そうとする研修生・修了生の姿が目立った。



■学芸高校 生徒ボランティア

- ・概要：学芸高校の生徒がボランティアとして、いの町の製紙会社で楮の蒸し剥ぎに参加。4回に分けて、のべ20名程度が体験中(R7.1～2月)

- ⇒学生の反応：地域に根付いた伝統産業に触れる貴重な機会として、参加希望者が多数。実際に体験した学生は、作業の大変さを知ると同時に和紙づくりについて学ぶことができ、リピート希望者もいる。
- ⇒受入事業者：普段ボランティアで作業を行っている方々が休めるなど、負担軽減に繋がった。また、学生と実際の仕事を通じて交流することで、和紙へ興味を持ってもらうこと、産業の課題についても知ってもらうことができる。

基本方針Ⅰ 原料づくり__分析(C)、改善(A)

| 【指標】 | 分析【C】 | 改善【A】 |
|-------------------------|---|---|
| (1)土佐楮の供給量(=使用量) | ①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] ●文化庁補助金の活用について ・和紙生産者個々の取り組みでは負担が大きい ・一方、文化庁補助制度自体はあまり知られていない →楮生産に関わる方へ積極的に紹介する必要がある ・文化庁補助金の制度活用が可能かを再確認、文化庁調査官の来高を調整する必要 ・集落活動センター佐賀北部で補助金活用に至らなかった理由 →適正価格・全量買取による取引先がいる(県外) →高齢化、過疎化により作業員確保×=生産量が増えない | ①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] (KPIに採用) ●文化庁補助金の周知等について ・補助金の紹介ができる準備(資料)を行い、事業者への周知を進める。 ・補助金活用希望者を選定し、文化庁調査官の現地確認の調整を進める。 |
| | ②楮生産者への調査・提案 | ②楮生産者への調査・提案 [環境農業推進課] |
| (2)原料生産の持続化 | ①生産効率化のための支援 ●上東を愛する会 現在の生産量では既存道具で十分とのこと。生産量の増加が見込まれない状況では、道具は使い慣れた現状のもので十分という意見は他でも見られるかもしれない。 | ①生産効率化のための支援 ▶①原料利用推進のための支援 ●土佐楮マークの運用再検討 ・過去の運用の振り返りと新レギュレーションの検討 |
| | ②作業員確保のための支援 ●楮加工作業のボランティア体験 受入側と体験側双方のメリットや意見を整理する必要がある | ②作業員確保のための支援 [全員] ・県内学校へのボランティアの斡旋・紹介の継続 |



各基本方針毎の活動振り返り

基本方針Ⅱ 担い手づくり

基本方針Ⅱ 担い手づくり_P、D

| 【指標】 | 計画【P】 | 実施【D】 |
|-----------------------------------|---|--|
| (1)長期研修修了生 | ①研修生の受け入れ環境づくり [工業振興課、土佐市、いの町] ・【通年】「短期研修」複数人指導体制での短期研修を実施（2件） ・【通年】「長期研修」和紙生産者なども交え、研修プログラムを協議する | ①研修生の受け入れ環境づくり ●短期研修（複数人指導体制） [工業振興課、土佐市] →実績：2件(5月、7~9月)（※内1名がR7長期研修予定） |
| | ②研修生の掘り起こし [工業振興課、土佐市、いの町] ・【通年】土佐和紙振興事業にて、将来の研修候補生獲得を目指し、進捗を定期的に共有・協議する。 ・【通年】地域おこし協力隊インターンシップ(いの町)にて土佐和紙に触れる機会を確保。インターンシップ参加者数やアンケート結果などを共有し、取り組み方を協議する。 | ②研修生の掘り起こし [工業振興課、土佐市、いの町] ●土佐和紙振興事業で「産地留学」の実施 ・1回目：12/14~15実施 6名参加 ※参加者選考のための「土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト」は基本方針Ⅲに記載 ・2回目：2/13~14実施 6名参加 ●地域おこし協力隊インターンシップ [いの町] *10/7~20 4名参加（紙すき体験） |
| | ③用具確保対策 [工業振興課、土佐市、いの町] ・【通年】県内の引退した職人が使用していた用具を収集。研修用の用具としての利活用を調整する。 | ③用具確保対策 ●生産量調査等で有益な情報を獲得 →竹ひご職人宅に使用していない箕桁数セット有を確認。(6月) |
| (2)県指定文化財である和紙の新たな技術保持事業者数 | ①土佐和紙保存会の活動支援 [歴史文化財課] ・【通年】重要無形文化財候補紙の技術定義検討、共有。 ・【通年】研修カリキュラムの作成、共有。 ・【通年】技術保持者の育成研修用の用具の確保＝補助金での用具発注1セット（箕桁：土佐清帳紙） | ①土佐和紙保存会の活動支援 <歴史文化財課_まとめ> ・用具製作の技術伝承について、手漉和紙用具製作保存会から聞き取り、継承者が少ない実態と背景を把握。 ・手漉き和紙保存会に研修の意欲を持ってもらうように、理事会や総会、土曜夜市の出店（7/20）の場を使って複数回、研修の実施を要請済み。 ・同保存会の意向に沿って、紙産業技術センターが所有している道具や情報を活用して効果的な研修を行えるよう、支援する。 ・令和7年3月に紙産業技術センターにて、同センターの職員を講師として、土佐和紙保存会が指定紙（主に清帳紙、典具帖紙）についての研修会を実施予定。 ・用具製作者側の事情等により、技術保持研修用の用具の完成に複数年を要することが判明したことから、用具製作については仕切り直し。 |

(1) ①研修生の受入れ環境づくり、②研修生の掘り起こし

■R7年度研修実施予定者

R7年度は、**新たに2件** の長期研修が予定されています（いの町1件、土佐市1件）

※年度途中で、さらに追加で研修が行われる可能性があります。（その場合、3件）

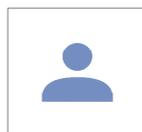
▶R7年度予定の研修のポイント

- ・土佐和紙の長期研修スタートは約6年ぶり（現時点の最終研修修了生_H31年度スタート）
- ・2件とも親類縁者以外での長期研修（後継者育成補助金運用開始以降初の事例）

簡単プロフィール



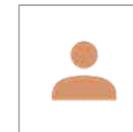
いの町_後継者育成研修



- ・研修実施予定 | 30歳男性（県内在住）
- ・研修受入先 | いの町の手漉き事業者
- ・短期研修 | R7年4月～（15日間）
- ・長期研修 | R7年5月～R9年4月



土佐市_後継者育成研修



- ・研修実施予定 | 23歳女性
- ・研修受入先 | 土佐市の手漉き事業者
- ・短期研修 | R6年に短期研修を実施。
- ・長期研修 | R7年4月から長期研修開始予定。

(1) ②研修生の掘り起こし

■R6年度委託 土佐和紙振興事業「産地留学」について

- ・目的：将来の土佐和紙産業の後継者、関係人口の増加

※全国各地から（和紙に関心の高い人）を参加者として募り、和紙の製法や産地での課題等について学んでもらうことで、将来の後継者の獲得を目指すもの

【12月産地留学】

- ・実施時期：12/14～12/15
- ・参加選考：全180点（ポスターデザイン部門79点、アイデア部門101点）から審査会(※1)を実施して選考。受賞者(※2)のうちグランプリ賞、準グランプリ賞に選ばれた8名をご招待。(実際の当日参加者は6名)

※1_審査員：株式会社ビームス シニアクリエイティブディレクター
株式会社伊東屋 バイヤー マネージャー
スターツ出版株式会社メトロミニッツ編集長（前OZmagazine編集長）
和紙生産者(産地留学受入)、高知県、土佐市、いの町で審査

※2_受賞：(各部門) グランプリ 1名
準グランプリ 3名
審査員特別賞 2名 計12名

【2月産地留学】

- ・実施時期：2月13日(木)～2月14日(金)
- ・参加選考：応募総数50件以上、エントリー31件の中から書類選考及びWeb面談で選考した6名(※)をご招待。

※参加者：大学生5名、高校生1名

(1) ②研修生の掘り起こし

■産地留学レポート 12月14日(土)~12月15日(日) その①

【1日目】
@いの町

11:00~12:00 紙の博物館見学_くろしおくん登場セレモニー
13:30~16:30 工房見学_楮の蒸し剥ぎなどの作業
16:30~17:00 座談会

くろしおくんから賞状授与



蒸し剥ぎ



へぐり



座談会



【2日目】
@土佐市

9:00~15:00 工房見学、和紙作り (打解、流し透き、溜め漉き、乾燥)
15:00~16:00 座談会 (まとめ、振り返り)

打解



紙漉き



和紙アート



座談会



(1) ②研修生の掘り起こし

■産地留学レポート 2月13日(木)～2月14日(金)

11:00～12:00 紙の博物館見学
13:30～16:00 工房見学、和紙作り（打解、流し透き、溜め漉き、乾燥）
16:00～17:30 座談会（まとめ、振り返り）

紙博見学



工房で紙漉き



NHKの取材もありました



座談会



【1日目】
@土佐市

9:00～15:00 工房見学、和紙作り（打解、流し透き、溜め漉き、乾燥）
15:00～16:00 座談会（まとめ、振り返り）

へぐり作業



飯、楮の見学など



染め体験



【2日目】
@いの町





(1) ①国内展開への支援、②研修生の掘り起こし

■産地留学実施後アンケート & Webディスカッション

Q (産地留学を通じて)
「土佐和紙」や「土佐和紙職人」のイメージに変化はあった？

ひたすら紙をすいているものと思っていたが、伝統を守りつつ新しい挑戦を続けていることを知れた。

職人さん同士で協力して和紙を残していくためにはどうすれば良いのか工夫していることを感じた

素材の「紙」としてのイメージは覆され、その手間のかかり方から工芸品という印象に変化した。ビジネス的にブランド化は重要だと思う一方、一周回って、あり方としては日常に在るのがふさわしい気もした。

「土佐和紙」という1つのラベルのもとに、大体同じようなものだと思っていたが、実際には職人の方がそれぞれの個性が活き、まるで土佐和紙自体が「人間らしさ」を持っているようだった。

Q (産地に行って感じた)
「土佐和紙」の魅力と課題は？

魅力) 和紙づくりが、お客さんの様々な要望に対応して作られていること。むしろ「こんなにも(要望を)言っているんだ」という驚きがあった。

魅力) 気骨のある職人さんがいること。
また、職人さん同士につながりがあること。

魅力) 「紙」そのものだけでなく、和紙ができるまでのプロセス(紙漉きの瞬間、へぐりの工程など、手間のかかる部分)に体験することで感じられる価値がある。

課題) 和紙を探そうと思っても、上手く探せない。
デザイナーという職業柄、本格的な和紙の情報をもっと見つけやすいとありがたい。
この和紙は印刷適性がある、これはパッケージに相性が良い等、種類と用途を体系的に知れたら嬉しい。

課題) 土佐和紙の物語が十分に発信されていない。
(作るプロセスや歴史をもっと発信すればよい)

課題) 「紙のまち」としたら、もっと至る所で紙を感じれると良かった。もっと紙が街のアイデンティティとして確立されていると良いと感じた。





(1) ①国内展開への支援、②研修生の掘り起こし

■産地留学実施後アンケート & Webディスカッション

Q (自身が感じた)
「土佐和紙」の課題に対してどんな取組ができるか？

土佐和紙×食のような、**他の体験と合わせた見せ方**がもっとできると良い。(県外にはアート体験しながら食事が楽しめる店がある)

和紙は**使い次第で"姿"や"価値"が変わる**気がする。もっとクリエイターや使う人目線で発信できると良いのでは？
(「こんな紙です」と紙そのものを語るよりも、使う目線でのエピソードに和紙の価値がある？)

例えば、クリエイター向けの和紙のモデル空間があっても面白い。(一般の方向けというよりも、空間デザイナーとかクリエイター向けの和紙で色々チャレンジした空間として)

Q これからどのように土佐和紙と関わっていくことができるか？

クラスの担任の先生に直談判し、クラス内で(産地留学で見聞きした)土佐和紙の現状、和紙についてお話させていただきました。その後、学部長に推薦をいただき、全校生徒の前でプレゼンしました。

現在執筆している長編小説で、高知県や土佐和紙について触れられないかと思っています。(某県の文学賞の佳作受賞作家)

自分が大学で教えている学生たちに、制作物の素材として土佐和紙を提案します。

知り合いのクリエイターやアーティストに土佐和紙を紹介します。

和紙が効果的に使用できそうなデザイン案件では、土佐和紙の積極利用を試みます。

行政からの「**後継者育成補助**」や「**弟子として受け入れてくれる事業者**」がいれば、来春の卒業後、土佐和紙の職人を目指すことを**選択肢の1つ**にしている。



【考え方】
現状の研修受入体制の課題解決を図る

| 【指標】 | 分析【C】 | 改善【A】 |
|-------------------|--|---|
| <p>(1)長期研修修了生</p> | <p>①研修生の受け入れ環境づくり</p> <p>●R7以降の長期研修受入れ増を想定し、研修体制の再構築を考える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修受入事業者が補助金申請や、講師等の調整窓口まで担うのは負担が大きい <p>→問合せへの一次窓口も含め、事務担当が必要ではないか。 (1対1の弟子入り希望の場合は別)</p> | <p>①研修生の受け入れ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者受入れの体制づくり検討のため、既存の補助制度の運用や現在の受入れ体制の課題などを共有後、方向性を検討。 |
| | <p>②研修生の掘り起こし</p> <p>●R7長期研修が3件予定。さらに産地留学を通じてR8以降の研修希望者も期待できる。※産地留学参加者は意欲も高く、将来の研修受講者になる可能性がある。</p> <p>今後も、産地留学参加者とは繋がりを保っていくことも必要。</p> | <p>②研修生の掘り起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地留学参加者の継続フォローの検討 ・職人だけでなく、関係人口づくり（掘り起こし）の継続検討 |
| | <p>③用具確保対策 [工業振興課、土佐市、いの町]</p> <p>●研修用、研修修了後に使用する用具の確保は依然として課題→現在のいの町の貸出し用の箕桁(利用可能なもの)は1点で原則、町内貸出し。残る他の箕桁については、<u>損傷や劣化も激しい。</u></p> <p>・用具の注文ルートを確認するため、用具保存会でとりまとめる状況を調べ、関係者で共有する必要がある。</p> | <p>③用具確保対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の用具職人の研修状況などを用具保存会と再確認、和紙生産者とも情報共有を進める。 |

▶次ページに続く

【考え方】
技術保持研修ができる状態をまずは整える

| 【指標】 | 分析【C】 | 改善【A】 |
|-----------------------------------|--|---|
| <p>(2)県指定文化財である和紙の新たな技術保持事業者数</p> | <p>①土佐和紙保存会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具製作で生計を立てるのは厳しい状況であることを、全国手漉和紙用具製作技術保存会の会長等への聞き取りにより把握。 ・手漉き和紙保存会のメンバーは、手漉き和紙のみでの生計を立てるのは難しく、複数の仕事を持っている者もいて、指定紙の技術取得の研修会の企画をするのは容易でない。 ・大量に製作販売ができないことから、現在漉いている和紙の顧客への対応を優先せざるを得ない。収入の目処が立ちにくい指定紙の技術の獲得の必要性を感じにくい。 ・手すき和紙協同組合の組合員と調整が進んでおらず（研修協力、イベントの手伝い、技術供与）、土佐和紙保存会のメンバー数名（固定）で小規模少数の事業を行っている実態がある。 ・職人の中で研修の受講者が決まらない場合は、新規の職人に対象を広げることについても検討が必要。 <p>●研修用箕桁の確保については、現存する箕桁の有効活用を検討していく必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙産業技術センターの用具を使い、技術保持研修用を実施するなど（他、引退した職人等が所有する遊休用具の活用も検討していく必要） | <p>①土佐和紙保存会の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁とも協議しながら、研修カリキュラムを作成。 ・研修開催に向けて、新たに職人への声かけを進める。 ・技術保持研修の実施場所は、紙産業技術センターと調整する。センター内貸出し用箕桁を確認し、実施を進める。 |



各基本方針毎の活動振り返り

基本方針Ⅲ 付加価値づくり

基本方針Ⅲ 付加価値づくり__計画(P)、実施(D)

| 【指標】 | 計画【P】 | 実施【D】 |
|------------------------|--|---|
| <p>(1)新商品開発件数</p> | <p>①新商品開発の支援 [工業振興課] ・【通年】土佐和紙振興事業にて、全国から新たな和紙づくりにつながるアイデアを募集。集まったアイデアは和紙生産者等へ共有。</p> | <p>①新商品開発の支援 ●土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト（土佐和紙振興事業） [工業振興課] ▶応募開始（7/11～11/5） *全180点の応募（ポスター部門79点、アイデア部門101点） ●県、ポケモン(株)との連携協定に伴う和紙商品開発[工業振興課] ▶ヌオーの土佐和紙ひとつと便せん（R6.12月～販売） ※高知県観光振興部主催のオンライン説明会参加R7.2月）</p> |
| | <p>②技術面での支援 [紙産業技術センター] ・【通年】センターの設備やノウハウを活用して商品開発を支援、情報共有。</p> | <p>②技術面での支援 ▶支援件数：延べ12件（うち商品化：4件）</p> |
| <p>(2)見本市や商談会等への参加</p> | <p>①国内展開への支援 [全員] ・【4～9月】国内見本市等の情報収集、出展支援策について協議する。 ・【4～6月】和紙生産者への日曜日出店を積極的に声かけする。</p> | <p>①国内展開への支援 ●国内見本市への出展支援 [産業振興C] ▶延べ4社出展（モリサ、内外(2)、ひだか和紙） ・日曜日出店へ声かけ[工業振興課]→3者出店 (手すき2者7、11月 機械すき1者9月) ・土曜夜市への出店支援[歴史文化財課](7月) ▶土佐和紙保存会から3者出店 ・土佐の伝統芸能まつりへの出展支援[歴史文化財課](10月) ▶3者出展</p> |
| | <p>②海外展開への支援 [全員] ・【4～9月】海外展示会等の情報収集を行い、出展支援策について協議する。</p> | <p>②海外展開への支援 ・クレアパリ「伝統と先端と」の出展支援[工業振興課] ▶1社出展（モリサ）（11/5～23） ・パリ組ショールーム展示[産業振興センター] ▶2社出展（モリサ、内外）（R6.11月～R7.1月）</p> |

(1) ①新商品開発の支援

■土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト（土佐和紙振興事業）

・デザインやクリエイティブな視点から土佐和紙に関わる方を集めるべく、コンテスト形式で参加者を募集しました。

・コンテストは次の2部門↓
ポスターデザイン部門：

和紙の産地に訪れたくなるような土佐和紙のPRポスターを募集

土佐和紙アイデア部門：

自分、ハンドメイド作家やインテリアコーディネーターが使い
たくなる新しい和紙のアイデアを募集

- ・ 募集期間：7/11～11/5
- ・ 募集方法：全国のものづくり系の学校200校以上にポスター掲示
登録者5,300人以上のLINEアカウントにて告知
WEB/SNSでの告知
登竜門（コンテスト公募サイト）での告知など
- ・ 応募：全180点
（ポスターデザイン部門79点、アイデア部門101点）
- ・ 審査員：株式会社ビームス シニアクリエイティブディレクター
株式会社伊東屋 バイヤー マネージャー
スターツ出版株式会社メトロミニッツ編集長（前OZmagazine編集長）
+
和紙生産者(産地留学受入)、高知県、土佐市、いの町で審査
- ・ 受賞：(各部門) グランプリ1名
準グランプリ3名
審査員特別賞2名 計12名

▼「土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト」
募集ポスター



▼アイデア部門
👑 グランプリ賞

「香る土佐和紙のスワッグtoucher wash」



▼ポスター部門
👑 グランプリ賞

「HELLO, I AM TOSAWASHI」



(1) ①新商品開発の支援

コンテストで集まったアイデア（アイデア部門応募作品）は1冊のファイルにまとめて、共有させていただきます。

■土佐和紙アイデア部門



○グランプリ「toucher washi」



○準グランプリ「ちらり、ゆらり」



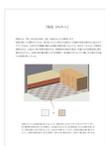
○準グランプリ「土佐和紙婚姻届」



○準グランプリ「土佐和紙クレジットカード & 交通系ICカード」



○審査員特別賞「Nature maze」



○審査員特別賞「和迎（わけい）」

■ポスターデザイン部門



○グランプリ「HELLO, I AM TOSAWASHI」



○準グランプリ「夏休み紙を作ってみた」



○準グランプリ「生まれた」



○準グランプリ「わしのしわ」



○審査員特別賞「土佐和紙なら空も飛べるかも」



○審査員特別賞「いの町での時間旅行」



(1) ①新商品開発の支援

■(株)ポケモン × 土佐和紙

商品名 **【仁淀川の水で作った ノオーの土佐和紙ひとこと便せん】**



株式会社Mは、ミレービスケットと並び、高知県とポケモンの第1弾コラボ先として選ばれました。

ポケモンローカルActsとは：
地域それぞれの「推しポケモン」を活用して、各地の魅力を国内外に発信する活動（Acts）。

- ・使用可能：「ノオー」
- ・使用許諾：県内の企業（県内に主要な工場・生産拠点がある企業含）のみ
- ・販売地域：高知県内の販路、オンライン販売、
アンテナショップや県主催の物販イベントは可(高知県の飛地扱い)

販売店舗

- ・高知 蔦屋書店『ポケモンセンター出張所』 = 大好評終了
- ・高知龍馬空港 売店
- ・高知市帯屋町・土佐せれくとしよっぷ「てんこす」
- ・いの町紙の博物館

※ 2/14 高知県観光振興部主催で、県内事業者向け説明会を開催。
特設サイトから商品化についてのお申込みを受付しています。
<https://doppuri.kochi-tabi.jp/pokemon/>

【ノオー特設サイト】



こちらをクリック

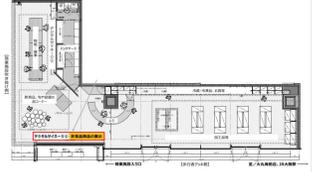
基本方針Ⅲ 付加価値づくり_分析(C)、改善(A)

| 【指標】 | 分析【C】 | 改善【A】 |
|------------------------|--|--|
| (1)新商品開発件数 | ①新商品開発件数 ●土佐和紙デザイン&アイデア ・土佐和紙ポスターデザインと和紙アイデアの全180点の中にはユニークな作品も多かった。 ・和紙生産者へ作品(アイデア)の情報提供を行い、アイデアの実現を検討できないか一緒に考える機会が必要。 ●ポケモンコラボは1商品で終わらず、複数の和紙商品がコラボできるように支援を続けていく必要がある。 | ①新商品開発の支援 ・R6年度のコンテスト応募アイデア*は、手すき和紙組合、製紙工業会内で情報共有を実施。 ・実現可能なアイデアの検討や、実現に向けた支援を検討。 |
| | ②技術面での支援 | ②技術面での支援 |
| (2)見本市や商談会等への参加 | ①国内展開への支援 ・(日曜市)日によって客数&客層が異なる(インバウンドの影響が大きい) →今後は客船来航日も示して出展日を調整すると出展者も選択しやすい | ①国内展開への支援 ・継続した出店案内および、案内時は客船来港予定なども考慮して調整を実施 |
| | ②海外展開への支援 ・継続することで知見がたまり、現地での取扱いに繋がるケースも見られている。引き続き、和紙生産者の要望を丁寧にヒアリングしていく必要がある。 | ②海外展開への支援 ・海外展開について事業者要望ヒアリングの継続 (産振センターの支援策も情報提供) |

基本方針Ⅲ 付加価値づくり__計画(P)、実施(D)

| 【指標】 | 計画【P】 | 実施【D】 |
|----------------------------|---|--|
| <p>(3)土佐和紙のPR 実施件数</p> | <p>①情報発信の強化 [全員]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【通年】WEB、SNS等での発信を継続し、共有する。 ※関西アンテナショップ開業に合わせ、土佐和紙の展示調整を進める。 <p>【通年】土佐和紙台紙の利用促進 ※県庁内で実施するイベント等で使用される賞状等への土佐和紙 利用促進の働きかけ（工業振興課で土佐和紙台紙を調達）</p> | <p>①情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関西アンテナショップ「とさとさ」で土佐和紙をはじめとする伝統工芸品等の展示(7/31～) [工業振興課] ※1ヶ月オープン記念イベントの体験コーナーで、土佐和紙キャラバン開催（9/7、8） ●土佐和紙台紙の利用促進 = 県庁各課が実施するスポーツ大会等で使用される賞状等に和紙利用を働きかけ[工業振興課] ・工業振興課において和紙台紙を調達・支給(1月～) ●イタリア修復紙テスト[工業振興課、紙産業技術C] ・プッチーニ手書き修作ノート「トスカ」の修復に土佐和紙使用 ・プッチーニ博物館から報告会(10/12) |
| | <p>②イベントの開催・参加 [全員]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【通年】各種開催されるイベントについて、情報共有・協議を行う。 ※四国経済産業局オープンファクトリー連携を支援。 ※トリエンナーレ次回展に向け課題整理を行い、開催企画案をまとめる。 | <p>②イベントの開催・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次回トリエンナーレ展開催に向けた、関係団体等との協議 [工業振興課、いの町] *若年層の応募料減額など応募要項の改正検討 *運営の効率化のための一部業務の外注化検討 *R7.2、3月 幹事会、実行委員会開催 <p><一覧> 紙とあそぼう作品展（7/23～8/18） ・土曜夜市（再掲）[歴史文化財課] ・土佐の伝統芸能まつり（再掲）[歴史文化財課] ・ものメッセKOCHI2024[工業振興課、いの町] ・土佐和紙はがき絵展[いの町] ・土佐和紙デザイン&アイデアコンテスト（再掲）[工業振興課] ・Kami祭[いの町] ・夜の紙博[いの町] ・土佐和紙のチカラ（企画展in城博）[紙産業技術センター] ・ひなマルシェ[いの町]</p> <p>（※参考） 四経局オープンファクトリーの取り組みで、和紙生産者の工房見学も実施されました。</p> |

(3) ①情報発信の強化



■スーパーローカルショップ「とさとさ」でのPR

- ・店内大型ビジョンでは、土佐和紙事業者を含む県内伝統産業の職人の紹介動画が放映。(R4年度制作 デジタルパンフレット土佐の手仕事図録動画)
- ・土佐和紙は、土佐打刃物、内原野焼、土佐古代塗、虎斑竹、宝石サンゴと並んで展示。限られたスペースの中で食卓シーンの再現のような形で展示もされている。



■OPEN1カ月記念イベント

- 7/31OPEN後、9月に開催されたイベントでは、「とさわしの体験ブース」も出店。和紙のキーホルダー作りの体験と、和紙雑貨の販売を実施。
- ※和紙生産者さんが精力的に取り組む、関西圏を中心に和紙の出張体験を提供する「土佐和紙キャラバン」の一環として実施。
- ▶この活動の支援も想定し、R7年度の後継者育成補助金では新たに販路開拓メニューを拡充

■土佐和紙台紙の利用促進について

(2024.2月龍馬マラソンの表彰状に和紙が採用されたことを機に) 県のような事業で使われる台紙で土佐和紙が採用されることを目指して、全庁でニーズを調査。

- ・2025年1月から、新たに試験運用スタートしました。

<全庁への投げかけ>

1.和紙台紙の支給

各課において、次の(1)から(5)に定める用途で和紙を使用する場合、工業振興課から和紙台紙を支給する。

- (1) 賞状
- (2) 感謝状
- (3) 認定証(合格証)
- (4) 名刺台紙
- (5) その他土佐和紙PR、需要開拓に繋がるもの

2.和紙台紙の規格・支給枚数

工業振興課から支給する和紙台紙の規格及び支給枚数は以下のとおりとする。

- (1) A3 : 上限500枚/回
- (2) A4 : 上限500枚/回
- (3) 名刺台紙 : 1名につき100枚/年

*名刺台紙については、管理職(副部長級以上)が対象
*A3、A4用紙については、手差し印刷に対応

3.支給方法

和紙台紙の支給に当たっては、使用する用途、必要枚数等について、当課へ事前に確認を行うこと。

4.留意事項

- (1) 賞状等は各課で作成すること。
- (2) 賞状等の印刷に係る費用は各課の負担とすること。
- (3) 知事表彰*に関するものは、支給の対象外とする。(人事課から規則等に基づき支給)



(3) ①情報発信の強化

■イタリア 「プッチーニの手書き修作ノート（トスカ台本）復元」プロジェクトへの協力

【背景】

（イタリア在住の和紙作家横山明子さん(安芸市出身) 主催で、イタリアと日本の修復関係者、和紙生産者が参加するオンライン交流会が開催）

その後、横山さんから県へ連絡↓

イタリア修復士の方に、フィレンツェ国立中央図書館所蔵の修復作品の用紙として土佐和紙を紹介することを提案される。



<経緯>

2023.10 【オンラインMtg】
イタリア修復士の方2名と、県/紙技センター/和紙職人T氏とでオンラインで協議。テスト用の和紙の提供を依頼される。

2023.11 【和紙サンプル送付】

2024.5 （要望を受け）【追加の和紙サンプル送付】
サンモアペーパーの送付

2024.9 【修作ノート復元の報告】
簡単なレポートが送られてくる。
&横山さんから、プッチーニ財団の発表会へ和紙職人からのメッセージ動画の準備を提案される

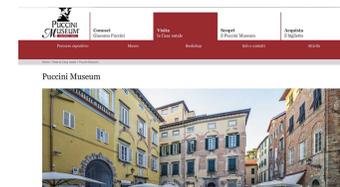
2024.10 【ルッカ プッチーニ財団発表会】
プッチーニ美術館公文書館の修復プロジェクトに関する発表が行われ、地元メディアで掲載された。

【今後の商流】

イタリアの修復家が今後、土佐和紙を使いたいとなった場合、
"和紙生産者⇒輸出業者⇒横山さん⇒イタリアの修復士"
の流れで販売することを、輸出業者&横山さんともに了承済。

■発表レポート

Puccini e Tosa wash
Il restauro di FCRLu - Copia di lavoro del libretto di Tosca
(プッチーニと土佐和紙
FCRLuの修復-『トスカ』に関する習作ノートのコピー)



プッチーニ生家博物館とアトリエおよび仮に設置された修復工房内の様子



和紙によるエッジ補強と隙間補修



背表紙の欠損を修復する為に和紙を準備している様子

(3) ②イベントの開催・参加

■トリエンナーレ第13回展に向けた調整

トリエンナーレの魅力向上と運営効率化を目的に、
 (これまで紙の博物館職員が対応してきた) 運営の一部を委託できるように、
 外部事業者と打合せを進行中。

委託検討

負担感

| | | |
|-----------------|--|--|
| 作品応募 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エントリーシートの整理作業 *1,300点以上を手入力 (外国語(手書き含む)の対応が負担大) ・ 開梱作業、国内作品の返送作業等 | |
| 審査会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査員・審査会スタッフの調整 *審査会スタッフ動員40~50名 (県、いの町、土佐市、手すき組合) | |
| OS・表彰式 (交流会) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の調整(約70名) *入賞者(県内外、国外の方もいる) ・ OS時、ギャラリートーク等 | |
| 広報活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 一部委託(約130万円) チラシ、ポスター作成、SNS広告 TVCM作成、放送、地域イベント連携 | |
| 展覧会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会準備(キャプション、図録作成) ・ 紙博入場料とは別にトリエン観覧料徴収 ・ 会場整理等で1名アルバイトを雇用 | |

※トリエンナーレ応募数、来場数増加とともに、
土佐和紙の普及拡大を図る取組みも検討している。

検討例："土佐和紙賞"の賞金見直し
 "和紙を使った版画作品"の応募数の増
 =(和紙の販売に繋げる) …etc

■ (トリエンナーレ展に合わせて) 土佐和紙の購入ルートを作る

【高知県手すき和紙協同組合への提案】

提案① 和紙商品のメニュー化

受注生産型での注文対応だけでなく、商品として一定量を在庫し、小口の注文に即時対応できる形を作っては如何でしょうか？

- 例：・トリエンナーレ応募者の土佐和紙購入を狙って、「**版画紙10枚セット (ニ×三版サイズ)**」
- ・その他、「**和紙台紙 (A3、A4〇枚)**」など

提案② 和紙商品のオンライン販売

メニュー化した商品をオンラインで販売は如何でしょうか?? 既存のプラットフォームでアカウントを作ることから試す等。

大手ECプラットフォームでの販売ページの例↓



第12回高知国際版画トリエンナーレ展

高知国際版画トリエンナーレ展

開催期間: 2022年10月13日(土) - 13月13日(日)

主催: 土佐和紙協同組合

協賛: 高知国際版画トリエンナーレ実行委員会

お問い合わせ: 087-828-8910

申込方法: 下記のとおり、詳しくは応募要項(PDFファイル)をご覧ください。

応募要項: [Icon]

ENTRY REQUIREMENTS: [Icon]

審査結果: [Icon]

版画用の和紙はこちら

購入サイトへ



海外からトリエンナーレの応募をされる方にも、和紙を購入していただくことが可能です。

基本方針Ⅲ 付加価値づくり_改善(A)協議 (提案)

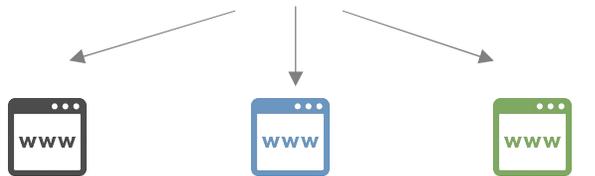
提案③ 高知県手すき和紙組合HPの更新

ECのアカウント準備とともにHPのアップデートも必要ではないでしょうか!?

更新費用については、「経済産業省 伝統的工芸品産業支援補助金」他、各機関の補助金活用をサポートします。



現在のHP



- 例 組合員の皆さま
- 紙の博物館
- 県のサイト等

※更新したHPを入口とし、各組合員のサイト、紙の博物館サイトや行政サイトと繋げる等で相乗効果も発揮できる。

<参考>

美濃手すき和紙協同組合のHP



石州和紙協同組合のHP



基本方針Ⅲ 付加価値づくり_分析(C)、改善(A)

| 【指標】 | 分析【C】 | 改善【A】 |
|----------------------------|--|---|
| <p>(3)土佐和紙のPR 実施件数</p> | <p>①情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●とさとさ（大阪）では、来客数も多く、展示の仕方では効果は高まると見こまれる。 ・ショップ側でも定期的にコーナーメイクを検討しているため、次回展示内容更新のタイミングでは組合からも展示を提案できると良い ・和紙の利用促進では、認定証や賞状などを和紙に切替える部署が新しく見られ、地道な利用促進と普及に繋がりがつつある。 他の行政団体でも拡げられると良い。 ●イタリアでの土佐和紙認知普及のきっかけになった。今後、継続的な購入を進める際は商社を通じてのルート機能をさせる。 | <p>①情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●とさとさでの展示、情報発信 (全体会・手漉き組合としての展示提案を検討いただく) ●和紙の利用促進 ・土佐市、いの町の庁内でも和紙台紙の利用促進について検討する。 |
| | <p>②イベントの開催・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ●トリエンナーレ開催に向けて ・運営業務の効率化、魅力向上にも繋がるため、外注の継続検討を進める必要がある。 ・同時に、土佐和紙の購入拡大にも繋がる仕組みを整備していく必要がある。 | <p>②イベントの開催・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ●トリエンナーレ開催に向けて（土佐和紙の販売促進策） ・商品メニューの造成（ex版画紙セット商品など） ・ECサイトの開設（既存プラットフォームでのアカウント取得） ・手すき和紙組合HPの更新 ・上記について、国の伝統産業振支援補助金の活用も検討 ●アートワークプロジェクトへの参画 ・手漉き組合で、和紙の準備(販売・サンプル)を進める ・機械漉き事業者にも協力を呼びかけ、参画を進める。 |

計画 (Plan)

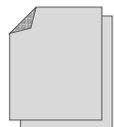
【承認のお願い】

R7年度の活動予定について
ご確認をお願いします。

※詳細：お手元のPDCAシートに
ご確認ください。

※青字：PT会での協議により、
新たに取り組む項目

| 【指標】 | 計画【P】 |
|----------------------------|---|
| (1)土佐楮の供給量(=使用量) | ①和紙生産者への調査・提案 [工業振興課] ・文化庁補助金の周知・活用の調整 ②楮生産者への調査・提案 |
| (2)原料生産の持続化 | ①原料利用推進のための支援[全員] ・土佐楮マークの運用再検討 ・生産者への表彰検討 ②作業確保のための支援 ・県内学校へのボランティアの斡旋・紹介を行う。 |
| (1)長期研修修了生 | ①研修生の受け入れ環境づくり [工業振興課、土佐市、いの町、組合] ・長期研修受入2件 ・「短期研修」と「長期研修」の受入れ窓口、ルール作りの検討。 ②研修生の掘り起こし [工業振興課、土佐市、いの町、組合] ・産地留学参加者の継続フォローの検討 ・職人だけでなく、関係人口づくり（掘り起こし）の継続検討 ③用具確保対策 [工業振興課、土佐市、いの町、組合] ・全国の用具職人の研修状況などを用具保存会と再確認、和紙生産者とも情報共有を進める。 |
| (2)県指定文化財である和紙の新たな技術保持事業者数 | ①土佐和紙保存会の活動支援 [歴史文化財課] ・重要無形文化財候補紙の技術定義検討、共有。 ・研修カリキュラムの作成、共有。 ・技術保持研修の実施は紙産業技術センターと調整のうえ、センター内での実施を進める。 |
| (1)新商品開発件数 | ①新商品開発の支援 [工業振興課、組合、工業会] ・R6年度のコンテスト応募アイデア*の情報共有 ・実現可能なアイデアの検討や、実現に向けた支援を検討。 ②技術面での支援 [紙産業技術センター] |
| (2)見本市や商談会等への参加 | ①国内展開への支援 [全員] ・和紙生産者への日曜市出店を積極的に声がけ（客船来港予定なども考慮） ②海外展開への支援 [全員] |
| (3)土佐和紙のPR実施件数 | ①情報発信の強化 [全員] ・関西アンテナショップ「とさとさ」での展示を検討 ・土佐和紙台紙の利用促進 ②イベントの開催・参加 [全員] ・トリエンナーレ次回展に向け、土佐和紙販売促進策の準備。 ・アートワークプロジェクトとの連携 |



01 令和6年度の活動振り返り（総括）
・令和7年度の活動予定（承認） は以上です。